

協働による地域の自立・活性化

～ひとりひとりが主役となった 誇りと夢のまちづくり～

1. はじめに

福井市は、明治22年に市制が施行されて以来、鉄道の開通や繊維産業の興隆によって、県の政治、経済、文化の中心都市として発展してきました。

本市の位置する福井平野は、約1500年前に継体天皇が治水事業に尽力したことにより穀倉地として注目されたと伝えられています。その後、交易や文化の振興に伴って北陸道の要衝として栄え、中世には一乗谷で朝倉氏が5代103年間にわたり栄華を極めました。

朝倉氏滅亡後は、柴田勝家が北ノ庄（現在のJR福井駅近く）に居城を構えますが、秀吉の焼き討ちによってお市の方とともに自害し、本年のNHK大河ドラマ「江～姫たちの戦国～」にも取り上げられている茶々、初、江の三姉妹は時代に翻弄されることとなります。



一乗谷朝倉氏遺跡 唐門

本市は、昭和20年7月の空襲、昭和23年の福井大震災と再度にわたって致命的な打撃を受け、さらに水害、風害と幾度も災害に見舞われた。し

かし、復興への市民の不屈の気概により、今日では近代的な市街地が形成され、県都としての多様な機能集積が進んで、現在、住みやすさでは全国トップレベルとされる社会基盤を有しています。

2. 誇りと夢のまちづくり

本市では、郷土を大切に思う多くの市民が主役となって、自分たちのまちの宝の再発見や新たな魅力づくりなど、地域の個性と知恵を活かした、誇りと夢のまちづくりに取り組んでいます。

この取り組みは、本市がまちづくりの一環として推進しているもので、市民一人ひとりがまちづくりの一役を担い、参加する“運動会型”まちづくりをきっかけに、小学校区を単位とした「地区」まちづくり活動を、平成6年に「うらがまちづくり推進事業」として事業化し支援してきたものです。この事業に始まり、「うらがまちづくり支援事業」、「21世紀わがまち夢プラン事業」、「夢・創造事業」、「誇りと夢・わがまち創造事業」へ、“住民参加”から“住民主体”、さらに“連携・協働”へと段階を経てまちづくりの充実を図ってきました。

地域ではこの支援に応え、住民が一人一役を担い、歴史や自然などの特色や地域文化を活かしたまちづくりを展開してきました。各地区が、知恵と力を合わせ、さまざまなまちづくり活動に取り組むことにより、地域と人、人と人のつながりが芽生え、郷土愛や連帯意識が醸成され、住民自治力の向上と個性豊かな地域づくりにつながっています。

福井市長 ひがしむら
東村 しんいち
新一



さらに、平成17年からの「夢・創造事業」、平成19年からの「誇りと夢・わがまち創造事業」では、各地区の活動を基盤としながら、複数の地区が連携する広域的なまちづくり、NPOや学生との協働での取り組みへと発展し、その成果は、それぞれの地域の特徴を活かした、多彩で多様な地域の個性として、福井市全域に溢れています。

連携する広域的なまちづくり事業として、注目すべきものに、「越前朝倉万灯夜」があります。



越前朝倉万灯夜

「一乗谷朝倉氏遺跡」は、国の特別史跡、特別名勝、重要文化財の三つの指定を受けている福井市が全国へ誇る城下町跡です。ここを地域の宝としてPRすることを目的に、遺跡周辺の7地区が連携するまちづくりグループ「夢・創造 足羽会」が組織され、地区内外のボランティアによる手作りのライトアップ事業が行われます。遺跡周辺を4,000個のろうそくでライトアップし、浄瑠璃や篠笛・二胡の演奏など、当時をしのばせる演出により幻想的な雰囲気を創り出します。第1回の平成

16年は福井豪雨災害があり、遺跡周辺も甚大な被害を受けましたが、たくさんのボランティアの方から大きな元気と励ましをいただきました。その方たちへの感謝と早期復興の祈りを込めて開催されたこのイベントも、今年で8年目を迎え、今では夏の催しの一つとして定着しています。

3. おわりに～地域のまちづくり活動～

また、地域のまちづくり活動の中から、全国に向け地域資源の情報発信なども始まっています。一例を挙げると、山間部に位置する殿下地区は、自然の恵み豊かな地区ですが、少子・高齢化による過疎化が進んでいます。そこで地区は、地域の活性化をどう図るかを課題に、地区委員会を結成し、地区民が会員となり薬草民芸品部会・山菜部会・そば部会・自然薯部会・ジビエ部会などのものづくり活動に取り組み、特産品による地域の活性化事業を行っています。その活動の一つ、越知の恵味部会では霊峰越知山のふもとで採れた山菜をはじめ、農産物や伝承料理、加工品等を殿下から都会に出た人や県外の人々に、四季折々の旬な食材のふるさと便として発送し、受け取った方々からはなつかしい殿下の味と大変喜ばれています。

このように、運動会型のまちづくりがしっかりとした縦糸となり、連携・協働のまちづくりが横糸として各地域で自在に織り込まれることで、将来にわたり市民が誇りと夢を持てる創造性豊かな「ふくい」が受け継がれています。